



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2024/04/08

## あっさり黙示録 #75

### 宝石でできた首都 新しいエルサレムの意味

#### 黙示録 21 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日は**あっさり黙示録**の第 75 回目！  
今見ているのは、この世界の歴史の最後に神が準備しておられる新天新地の首都、  
新しいエルサレムの外形・材質についてのメッセージです。

ところで、私は 6 月に約 1 か月間ヨーロッパ 8 つの国を回り、聖書メッセージをお  
届けしたいと考えています。今からワクワクドキドキ、とっても楽しみなんですね。  
なぜそんなに楽しみかという、いくつか行ったことがない国を初めて見聞できる  
こともあります。私が一番行きたいのは会いたい人がいるところです。  
どんなに素晴らしい国や場所であっても、会いたくない人がそこにいれば、やっぱ  
り行きたくないと思うんじゃないでしょうか。素晴らしい場所で、しかも会いたい  
なあと思う人たちがいるところには、何が何でも行きたいと思うんですね。

天国は素晴らしいところ、新天新地は究極の素晴らしいところですが、そこに究極  
の素晴らしい方がおられるのです。父である神と子羊であるイエス・キリスト。  
善とか美德、優れたもの、素晴らしいもの、栄光に満ちているもの、それらすべて  
を結晶化しているような神がおられるところが新天新地、新しいエルサレムなんで  
すね。今日は新しいエルサレムの材質について考えます。

#### 黙示録 21 章 18~21 節

**都の城壁は碧玉（へきぎよく）で造られ、都は透き通ったガラスに似た純金ででき  
ていた。都の城壁の土台石はあらゆる宝石で飾られていた。**

**第一の土台石は碧玉、第二はサファイア、第三はめのう、第四はエメラルド、第五  
は赤緋めのう、第六は赤めのう、第七は貴（き）かんらん石（せき）、第八は緑柱  
石（りよくちゅうせき）、第九はトパーズ、第十はひすい、第十一は青玉（せいぎよ  
く）、第十二は紫水晶（むらさきずいしょう）であった。**

**十二の門は十二の真珠であり、どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。都の  
大通りは純金で、透明なガラスのようであった。**

ピカピカや。ここでは城壁・土台石・大通りについて書かれています。  
宝石だけど、厳密には宝石というよりも、宝石という表現をした別物だと思います。

都は透き通ったガラスに似た純金でできていた。  
純金、ガラスに似てますか。透き通った純金、見たことありますか。  
純金であればあるほど黄金で、透き通らないんじゃないですか。  
つまり、新天新地という新しい世界は、今の旧天旧地の世界には存在しない物質、  
新物質でできていると考えたらいいんじゃないでしょうか。

とにかく、12の宝石で城壁ができています。城壁も土台も道も全部、宝石・宝石・宝石。宝石で取り囲まれた世界について、旧約聖書で触れている箇所があるんです。そこを知ることは、この都の性質を知る手掛かりになると思います。

### **エゼキエル書 28章 11~12節**

**次のような主のことばが私にあった。「人の子よ、ツロの王について哀歌を唱えて、彼に言え。神である主はこう言われる。あなたは全きものの典型であった。」**

神はツロの王と呼ばれる、ある存在について預言されています。ツロはツロ・フェニキア、現レバノンですが、ツロの王は人間ではないんです。サタンのことなんですね。

### **14 わたしは油注がれた守護者ケルビムとしてあなたを任命した。**

ケルビムとありますが、ヘブライ文ではケルブです。ケルビムは複数形です。ケルブは神が創られた御使いたちの中で最も位が高い天使、最高位の特別な存在、天使たちを従えるリーダーの中のリーダー。しかも、油注がれた守護者ケルブなので、ケルブの中でも最高位。なので、全きものの典型であったんですね。

### **13 あなたは神の園エデンにいて、あらゆる宝石に取り囲まれていた。**

**赤めのう、トパーズ、ダイヤモンド、緑柱石、縞めのう、碧玉、サファイア、トルコ石、エメラルド。あなたのタンバリンと笛は金で作られ、これらはあなたが創造された日に整えられた。**

ここに9種類の宝石が出て来ますね。それに取り囲まれてできていたのが神の園エデン。これは、人類最初の人間アダムとエバがいたエデンの園とは別です。アダムとエバは人間のスタートの第1号と第2号ですが、人間が存在する前に存在していたエデンが神の園エデンなんです。

そこは宝石に取り囲まれている世界で、油注がれた守護者ケルブはリーダーを務めていました。何のリーダーかということ、あなたのタンバリンと笛。タンバリンと笛は、旧約聖書を見ると礼拝の時に使用される楽器です。なので、このケルブは礼拝のリーダー。罪が入る前の最高位の御使いは、すべての御使いに対してリーダーシップをとり、神を礼拝する存在だったんですね。が、彼は傲慢になって墮落してしまった。

サタンに墮落するまで、あなたは完璧だった。あなたは完璧な世界にいるだけではなく、あなた自身が完璧だった。そんなあなたに任された使命は最高位の使命で、神を礼拝することだった。

先日、車椅子テニスの選手の番組を見ました。今年はパリでパラリンピックがありますね。日本代表に小田凱人（おだ ととき/2006-）という17歳の選手が選ばれています。凄い身体で、既に何度もナンバーワンに輝いているんですが、「今年は

パラリンピックでぶっちぎりで優勝したい」と闘志満々でトレーニングしてました。

彼が尊敬してやまない選手は国枝慎吾（くにえだ しんご/1984-）さん。

もう引退しましたが、大活躍されて、東京オリンピックでも優勝しました。

そんな国枝選手のすべてが彼のお手本、憧れの的なんです。

「私の半分は国枝慎吾でできてます。勝った時のガッツポーズの取り方・声の出し方・喜びの表し方・悔しがり方、全部吸収しました。」

彼は国枝選手が引退する前に4回戦って、4回とも負けたんです。どうしても勝てなかった。その思いがまた、エネルギーに変わっているということでした。

彼らがツーショットで写っている写真があるんですが、もう何とも言えないイイ顔してるんですね。金メダル取った時の表情よりも、尊敬する人と試合を終えて、握手している時の笑顔は半分恍惚というか、憧れの選手と競い合って、声を掛けてもらって、アドバイスもらって、「良かった！」という。

それから、アコーディオンに似た楽器ありますよね。何ていうんですか。

バンドネオン？71個ボタンが付いていて、アルゼンチンタンゴを演奏するんです。

日本を代表するバンドネオン奏者、三浦一馬（みうら かずま/1990-）さんが『徹子の部屋』で徹子さんと対談してました。

彼も10歳の時にバンドネオンを聞いて「これやりたい！」

10歳の時から虜になっているCDがあるのですが、演奏しているのが、アルゼンチンの世界的バンドネオン奏者のネストル・マルコーニ。

もうその人を崇拜し、尊敬し、モデルにし、真似し、完全コピーし、ずーっと追いかけて続けるんです。

彼が高校生の時、九州で行われた音楽祭にマルコーニさんが出演したんですね。

それ10日間あるんです。これはもう行かなきゃと学校休んで。10日間毎日行った。自分の楽器を持って、何とか会いたいと行くんですが、その音楽祭は世界的なミュージシャンたちが集まるので、楽屋に行こうにもバックヤードに回ろうにも、ボディガードがびっしりいて近づくことさえできない。だけど、10日間毎日行った。そしたら「あの子、また来てるで」と、主催者スタッフの中でちょっと有名になって来て。バンドネオンのマルコーニさんがお目当てらしいと。

8日目か9日目、ホテルで23時過ぎ、もう寝ようかなと思ってた時に突然電話がかかって来て、音楽祭のスタッフが「マルコーニさんが今〇〇という有名寿司店で寿司食べてるよ！」楽屋には近づくチャンスない。今プライベートな時間はチャンス。「今なら会えるぞ！」彼はすぐに着替えて、タクシーに乗って「この寿司屋に連れて行ってください！」バンドネオンも持って。

お寿司食べてたんですねえ。「僕、あなたを尊敬して憧れてるんです！」

そしたらマルコーニさんが、「大将、ちょっとテレビの音、小さくしたって。この子演奏させるから。」

偉大な演奏家の前で演奏するのですが、寿司屋さんには普通のお客さんがいっぱいいてるんですよ。その人たちが、名将の前でガチガチになりながら演奏している高校生に「ブラボー！」

マルコーニさんはだいぶん飲んでほったんです。「今日はもう遅いし、飲んでるし。明日私が泊まってるホテルに来なさい。」翌日言われた時間に行ったら、「レッスンしようか」と2時間半。彼は午後にコンサートがあるんですよ。だけど、若い奏者のために2時間半、たっぷりレッスンしてくれた。

憧れの人と一緒に寿司を食べることも素晴らしい。憧れの人前で曲を弾くことも素晴らしい。でも、憧れの人に片思いの一方通行ではなく、個人的に名前を呼ばれ、プライベート空間に招き入れられ、一から手ほどきでレッスンを受けることができるって、こんなに光栄なことはないし、嬉しかったことはないと思うんですね。

新天新地の首都エルサレムはある意味、イエス・キリストのプライベート都、プライベート首都みたいなものですよ。そこに行って礼拝する。宝石でできたエデンの園は、神を礼拝するのに何の支障もない園。同じように、宝石でできている新しいエルサレムは、神を礼拝するのに妨げとなるものが一切取り除かれている世界なんだ、と読み取れるのではないのでしょうか。

クリスチャンには、そのように素晴らしいものが最後に準備されていますよ。だから、今苦しくても気落ちしないで、最後に行くところはここなんだから、良いものが待っている者らしく歩いて行こうではありませんか。そう勧めているのが黙示録だと思います。

チャンネル登録といいねボタンもお願いします。ではまた、ごうちゃんねるでお会いしましょう。お元気でいらしてください。さよなら！



☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017